

ウスキミスジアツバ  
30.VI.1989 1♀

以上のように、季節的には春から梅雨期にかけてだけの記録であるが、253種の分布を確認できた。内訳を見ると、シャクガ科が最も多く99種、次いでヤガ科84種、ヒトリガ21種、シャチホコガ科12種などとなっている。シャクガの中ではアオシャクの仲間が19種と比較的多い。ヤガではケンモンヤガ、シタバガ、ヨトウガなど冷温帯の森林に優勢な種が少なく、セダカモクメ亜科にいたっては全く確認できなかった。それにひきかえ、クチバ亜科の小型種が比較的豊富で、常緑カシ類を食樹とする種類も多く、概して暖温帯を生息地とする種類が個体数ともども多いのが特徴である。

この地域の里山から低山地の蛾相を顕していると思われる。また、草本を食する種が多いスズメガ科やコヤガ、ウバ類が少なく、シャクガ、コケガ、クルマアツバの仲間が多いなど、谷間の森林地帯という採集地の環境を反映しているものと思われる。しかしながら、目撃していても採集していなかったり、ごく普通種で当地にも当然生息しているはずであるのに採集できていない種がかなり多いものと思われる。夏以降に出現する蛾とともにさらに調査を重ねる必要がある。なお、小蛾類については若干数採集しているものの、同定が不十分であり今回は割愛している。これもあわせて別の機会に発表したい。

<参考資料>

- 1) 田中 蕃(1967)兵庫県下でマエモンシロオビアオシャクを採集 佳香蝶19(69);39
- 2) 夏秋優・佐々木昇(1983)能勢地方の蛾(Ⅱ)上阿古谷・夏の蛾(続報) Crude(24);1-12
- 3) 藤平 明(1987)南淡の蛾
- 4) 山本義丸(1952)郷土氷上郡の昆虫について NATURA(7);11
- 5) 山本義丸(1956)氷ノ山の蛾について(第二報) 兵庫生物3(3);121-123
- 6) 田中 蕃(1967)神戸市摩耶山に産する大蛾類 佳香蝶19(71);89-104
- 7) 岡村八郎(1987)神戸市摩耶山の蛾類採集目録 てんとうむし(10);37-45
- 8) 登日邦明(1973)淡路島産蛾類分布資料(2) 蛾類通信(73);215-224
- 9) 川副昭人(1987)佐用郡三日月町の蛾覚え書 てんとうむし(10);1-10
- 10) 山本義丸(1955)氷ノ山の蛾について(第一報) 兵庫生物3(1/2);3-6
- 11) 井上 寛他(1982)日本産蛾類大図鑑:講談社
- 12) 山本義丸(1956)兵庫県氷上郡昆虫目録
- 13) 藤平 明(1975)南淡の蛾(Ⅲ) Parnassius(15);7-12
- 14) 遊磨正秀(1973)六甲山地域の蛾類 I きべりはむし2(1);1-9  
(TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)

神戸市内のマイコトラガ  
山口福男

マイコトラガ *Maikona jezoensis* Matsumura を神戸市内で採集したので報告する。

1994年3月20日 1♂ 神戸市中央区諏訪山公園 図鑑などによると本種はかなり珍しいと書かれているが、神戸ではこれまでに松本氏が北区藍那で1986年4月に採集されて本誌15巻1号に報告されている。また1992年3月に奥須磨公園で熊代直生氏により採集された標本を見ることができた。

蛾の場合は蝶ほどに愛好者は多くなく珍種の採集される確率はかなり低い。それにもかかわらず過去10年に3頭採集されていることは、その気になって探せば案外とれる可能性を示唆している。

早春に短期間しか出現せずライトトラップにしかなかからぬことが、より珍奇化しているのかもしれない。

(YAMAGUCHI FUKUO 神戸市須磨区神ノ谷3丁目6-4)